

小中連携推進計画

令和8年度 第二中学校区のグランドデザイン

1 中学校区における目指す児童生徒像（取り組みのためのスローガン）

はじめに

複雑化する社会状況にあって、児童生徒が主体的に社会と関わりながら、よりよい人生を歩んでほしいと願う気持ちは、二中学区の教職員共通の願いである。これまでの研究では、一人の自立した15歳としての成長に焦点をあてて小中連携を推進してきた。

今年度は、仲間と力を合わせて様々な課題と向き合い、たくましく生きる15歳の姿をイメージして取り組んでいきたいと考えた。

「自分で気付き、考え、行動する」15歳

社会の激しい変化に対して主体的に考え、自ら行動し、決断できる力を身に付けて、義務教育を修了させることは、小中学校の教員にとっての大きな願いであり、目標である。

これまでの取組を振り返ると、「教員や周囲の大人から言われたことを確実に実行できる」段階から、「主体性をもって行動しようとする」段階へと進化している実感する機会をこれまでも多く目にしてきた。そこで、さらに大きな発展を遂げるために必要なこととして、どんな状況においても、仲間と助け合ったり支え合ったりしながら必要な情報を選択し、知識を活用する技能をもって、主体的に考えて行動できる児童生徒を育成することが必要だと考えるに至った。

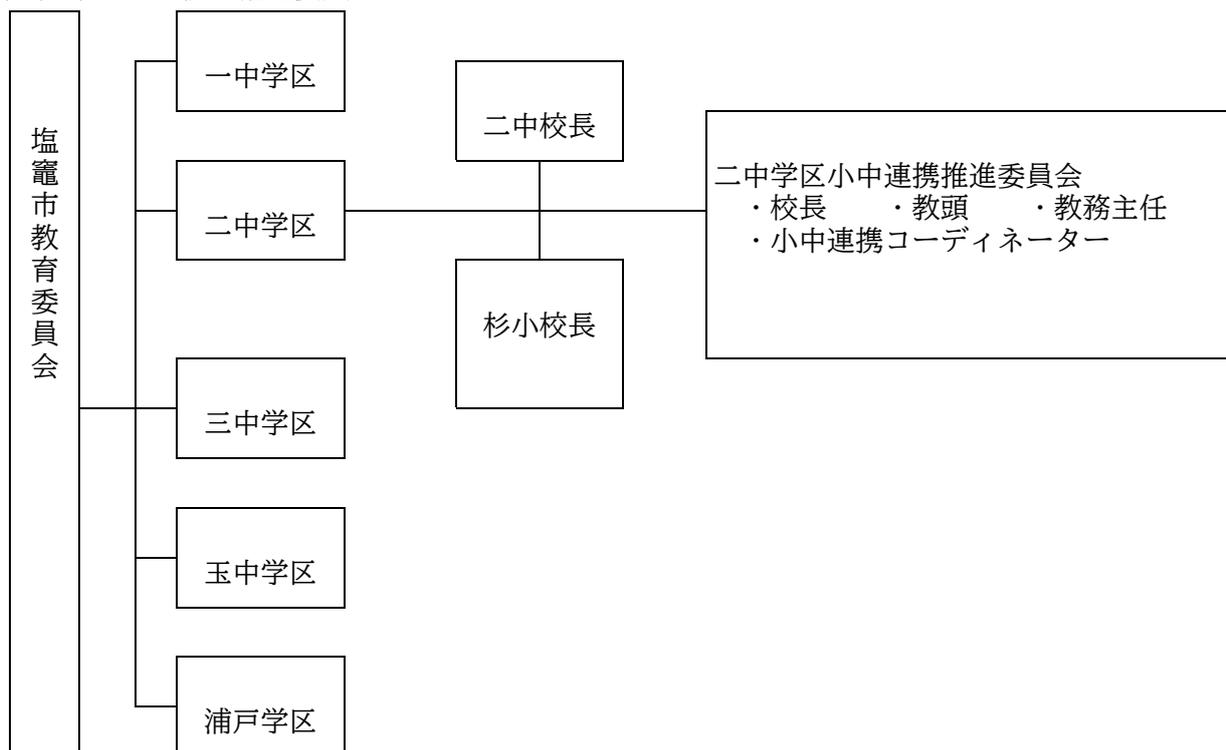
小学校から中学校の義務教育9年間をとおして、仲間とともに力強く『自分で気付き、考え、行動する15歳』の姿を具体的にイメージし、すべての活動において、学年や発達段階に応じた指導の手立てを講じていくものである。

2 重点目標

9年間の義務教育における系統的・継続的な学びをとおして、心身ともにたくましく自立した一人の人間として生きていくための総合的な力を身に付けた児童生徒を育成する。

3 具体的な取組

(1) 第二中学校区推進委員会



(2) 学園制（令和7年度）

・第二中学校教諭 ⇒ 杉の入小学校・第二小学校へ

校時	杉小	二中	月	火	水	木	金
1	8:35 9:20	8:45 9:35	杉小6年 杉小4年		杉小6年 杉小4年		杉小6年
2	9:30 10:15	9:45 10:35	杉小6年 杉小4年	杉小5年 二小6年	杉小6年 杉小4年	杉小5年 二小6年	杉小6年
3	10:35 11:20	10:45 11:35		杉小5年		杉小5年	
4	11:30 12:15	11:45 12:35		杉小5年		杉小5年	

※令和8年度の計画は、授業の事前連絡、事後検討については、対面の打合せやメール等で行う。

(3) 児童生徒の交流

①可能な時期に実施

- ・小中情報引継（4月下旬～5月上旬）
- ・小中学校の音楽交流 …… 6月、10月に実施予定
- ・小中学校の作品交流 …… 2月に実施予定（県書きぞめ展出品作品、絵画図工作品）

②行事としての活動

- ・「中学校生活を知る会」での小学校6年生と中学1・2年生の交流
 ⇒中学校生活の疑問に対する回答、部活動見学 …… 10月23日（金）
 ⇒中学校の授業体験 …… 1月26日（木）
- ・杉小児童会、二中学生徒会による「アルカス☆塩釜☆」の活動報告
- ・特別支援学級交流会と授業体験 …… 11月11日（水）

(4) 教員間の交流活動

①小中連携全体会

- ・第1回 5月7日（木）全体での顔合わせと各部会での活動計画立案【会場：杉小】
- ・第2回 2月12日（金）一年間の振り返りと来年度への申し送り事項の確認【会場：二中】

②授業交流（授業参観+個別支援）

- ・小中学校の教員が、それぞれの校種を超えて、個別支援を含む授業参観を行う。

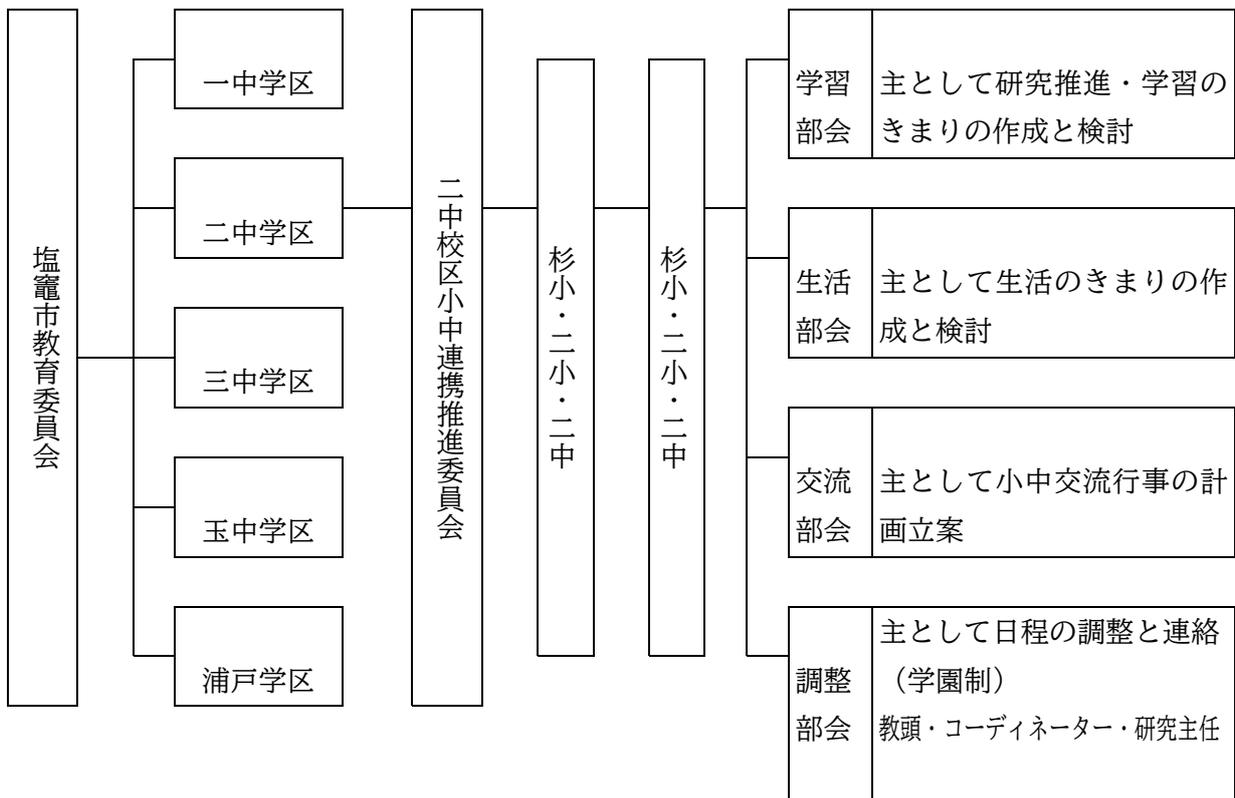
③相互の学校種について理解を深めるための授業参観

- ・外部講師を迎えての授業研究会の機会を利用した授業参観
- ・「指導主事訪問」の機会を利用した授業参観

(5) 保護者・地域の連携・交流

- ①保護者対象の「授業参観」や「フリー参観」等の機会を利用した授業参観
- ②学校運営協議会、父母教師会、運営委員会、学習参観・懇談会等での取組・情報発信・紹介
- ③「学校だより」「学校ホームページ」による取組紹介

4 小中連携を推進する組織



令和8年度事業計画

		重点目標との 関連	主な取組	主な工夫・手立て
必須メニュー	児童・生徒の 交流 ・合同行事 ・合同授業等	・心身ともにたくましく自立した一人の人間として生きていくための総合的な力を身に付ける。	・小学校への「職場体験学習」	・「職場体験学習」をとおして、将来の夢を考える機会を持たせる。
	・可能な時期 に実施		・中学校生活を知る会 質疑応答 部活動見学 授業体験	・「中学校生活を知る会」をとおして、中学校生活に対する不安を軽減させ、入学への新たな気持ちを持たせる。
教職員の交流 ・授業交流 ・合同研修 ・乗り入れ 授業等		・9年間の義務教育における系統的な学びの機会	・「アルカス☆塩釜☆」の活動報告会	・全校集会で「アルカス☆塩釜☆」の活動を発表させる。
			・児童会と生徒会の交流	・児童会と生徒会の活動をとおして、親近感を持たせる。
			・児童生徒の作品交流	・美術作品や書きぞめなど、互いの様々な作品にふれることで、感性を豊かにする。
			・児童生徒の音楽交流	・音楽での交流をとおして、互いを認める心情を育てる。
			・小中連携全体会 5月 計画 2月 反省	・小中の相互理解と各部の活動についての計画立案、次年度への引継を行い、滑らかな接続となるように工夫する。
			・小中情報引継	・新入生に関する生徒指導、保健関係の引継、情報交換をあらかじめ行う。
			・小中連絡会 3月 引継 5月 情報共有	・3月下旬の学級編制に関わる引継だけでなく、5月上旬の小6担任と中1担任の引継により、漏らさず生徒指導の接続ができるようにする。
・授業研究会	・「学びの10の視点」をもとに指導力の向上を目指し、外部講師を招いての研修会に、小中教員ともに参加する。			
・乗り入れ授業 外国語 算数	・中学校英語科教員、数学科教員による授業により、授業の質と児童の学力の向上を目指す。			
・授業交流研修	・小中教員が、それぞれの校種を超えて個別の学習支援や授業参観を行う。			